

洗たく物が臭い!! その原因と対策は・・・

先日、北陸地方にお住まいの女性から、着用中の衣類のニオイについての相談がありました。

『最近、着用中に衣類から嫌なニオイがして困っている。最初は大丈夫なのに、着ているうちにツンとしたニオイを感じる。周囲の人に臭いと思われていないかとても気になる』

お話を伺うと、雪の多い冬場は部屋干しをするので、洗たく物がなかなか乾かないことがある、とのことでした。よく洗ったにもかかわらず、使用し始めると後から発生する不快なニオイ。その原因は雑菌の繁殖です。

最近の研究成果で、特定の菌種がニオイを発生させていることがわかってきました。ニオイの原因菌の種類により、雑巾のようなニオイだったり、汗のようなニオイだったり、発生するニオイも変わってきます。原因菌は適度な温度下で水分と栄養分があれば、もの凄い勢いで繁殖します。身体から出る皮脂汚れを栄養分として分解し、イソ酪酸、イソ吉草酸といった短鎖脂肪酸、4-メチル-3ヘキセン酸といった中鎖脂肪酸を産出し、これらがニオイ物質と



なります。

部屋干しなどでなかなか乾かない状況は、原因菌の繁殖に好適な環境です。特に、タオルなどの水を多く含みやすく厚手の繊維製品は乾燥しにくいいため、原因菌やニオイ物質が蓄積しやすく、乾いた後で鼻を近づけると雑巾の様なニオイがすることがあり、「生乾き臭」と呼ばれています。

一般に雑菌は乾燥や紫外線に弱く、洗たく物を陽に当てて乾燥すればほとんどが死滅してしまいますが、ニオイの原因菌は乾燥や紫外線に強く、乾いた後の衣類にも残っていることが知られています。このため、最初は臭わなくても、着用後汗をかいたりすると、急激に繁殖しニオイ物質を放出します。これは「もどり臭」などと呼ばれています。

洗たく物のニオイを防ぐポイントは次の4つです。

①ニオイ原因菌繁殖の栄養源となる「汚れをしっかり落とす」

洗たく機に洗たく物を詰め込み過ぎないようにし、適量の洗剤と水で洗う。すすぎにはお風呂の残り湯は使わない。必ず水道水ですすぐ。お風呂の残り湯は水道水に比べて水温が高いため洗剤の洗浄力を高めませんが、一方で汚れや雑菌が含まれています。洗いに使うのはOKですが、すすぎはNGです。

②洗たく物に「ニオイ原因菌を残さない」

洗たく時に漂白剤を併用する。または除菌効果のある洗剤を使用する。漂白剤で除菌するときは、ぬるま湯でつけ置きをするより効果的です。衣類（素材）によって洗たくできる温度や漂白剤の使用可否が決まっています。洗たく前に衣類に付いている洗たく表示を確認しましょう。

③洗たく物に残る「ニオイ原因菌を増やさない」

洗たく前に洗たく物を濡れた状態で放置

しない。抗菌効果のある洗剤または柔軟剤を使う。

④干しているときにニオイ原因菌が繁殖しないように「早く乾燥させる」

干すときは、洗たく物の間隔をあけて干す。部屋干しのときは、除湿や換気をして室内の湿度を下げる。

臭いの原因と対策を知って、あなたも洗たく名人になりましょう。

